



平成27年11月12日

各位

会社名 株式会社セコニックホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 馬場 芳彦  
 (コード番号 7758 東証第2部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 章浩  
 (TEL 03-5433-3611)

営業外費用（為替差損）の計上および業績予想値と実績値との差異  
 並びに通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）におきまして、営業外費用（為替差損）の計上を行いましたので、お知らせいたします。

また、平成27年5月20日に公表いたしました平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

併せて、最近の業績動向等を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上

当社は、中国子会社に対して運転資金として米ドル建ての貸付を行っており、これら子会社においては当該資金を中国人民元に交換しております。平成28年3月期第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年6月30日）では、主に当該貸付金に係る為替評価差益として50百万円を営業外収益に計上いたしましたが、その後のドル円の為替変動に加え、特に中国人民元の切り下げの影響から、平成28年3月期第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日～平成27年9月30日）では為替評価差損が発生しました結果、平成28年3月期第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）では、為替差損27百万円を営業外費用として計上いたしました。

なお、上記は平成28年3月第2四半期末時点の為替差損であり、今後の為替相場によりこの額は変動いたします。

2. 平成28年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	4,500	70	70	40	2.33
今回発表実績(B)	4,944	7	△18	△179	△10.49
増減額(B-A)	444	△62	△88	△219	
増減率(%)	9.9%	△88.6%	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,477	41	160	56	3.31

### 3. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想値の修正

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	9,500	300	300	180	10.51
今回修正予想(B)	9,300	180	150	△80	△4.67
増減額(B-A)	△200	△120	△150	△260	
増減率(%)	△2.1%	△40.0%	△50.0%	—	
(ご参考)前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	9,035	6	329	71	4.19

### 4. 第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異の理由

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の当社業績は、売上高については複写機周辺機器のほか露出計や OMR 等の自主ブランド製品の売上が好調であったこと等から当初予想を上回る結果となりましたが、損益面では、下期に売上貢献が期待される製品の開発費が先行したことや基板実装事業の収支が悪化したこと等により収益性が悪化し、加えて、特に中国人民元の切り下げの影響による為替差損を計上したことにより、営業利益、経常利益が当初予想を下回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前述のとおり、事業整理損失を特別損失に計上した結果、同じく当初予想を下回る結果となりました。

### 5. 通期連結業績予想値修正の理由

平成 28 年 3 月期の通期業績予想は、売上高については監視カメラや入力機器等の光学電子情報機器の売上伸長が見込まれますが、連結子会社の一部事業撤退の影響や事務機器にかかる受託生産の先行きに不透明さがあること等を勘案して、当初予想を減額修正します。損益面では、当第 2 四半期連結累計期間の業績結果および下期の業績見通し等を踏まえ、営業利益、経常利益は当初予想を修正します。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の「連結子会社の一部事業撤退および特別損失に関するお知らせ」のとおり事業整理損失を特別損失に織り込み、上記のとおり修正します。

以上